

■はじめての方向け都南歴民ガイド

◆こんな展示をしています

<考古>



手代森遺跡出土の遮光器土偶（重要文化財）[複製]など、縄文時代や古代の遺物を展示しています

<歴史>



おおがゆう
大萱生鉦山関連資料や古文書、寺子屋で使われた教科書などを展示しています

<信仰>



オシラ神（盛岡市指定有形民俗文化財）のほか、民俗芸能関連の資料を展示しています

<民俗> 農具・生産用具



千歯こきなど米作りの道具、糸車など養蚕・製糸の道具があり、昔の人の生業を知ることが出来ます

<民俗> 生活用具



磁石式電話、足踏みミシン、炭火アイロン、氷冷蔵庫など、昔懐かしいくらしの道具が豊富です

<企画展示コーナー>



年に数回、企画展を開催しています。会期以外にも特集展示を組み、資料を入れ替えて展示しています

◆団体でのご見学にも対応いたします

学校、子ども会、町内会、自治会、地域活動などのご見学を受け付けています。詳しくは盛岡市公式ホームページをご覧ください。

◆農具や民具などの資料を貸し出します

所定の手続きが必要ですので、お早めにご連絡ください。

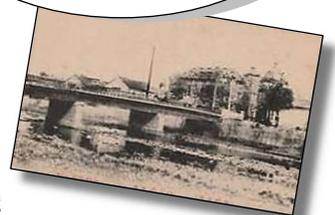
◆図書のご貸し出し

都南地域関連書籍などを貸し出しています。期間は1か月間です。調べ物にご利用ください。

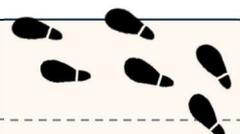
◆英語版リーフレットもあります

絵葉書「最新版 盛岡名勝」より
「中ノ橋付近」 当館蔵

現在、絵葉書コレクションを展示中です。明治末～昭和初期の日本の風景をぜひご覧ください。



館内くん蒸のため、令和6年7月末～8月初頭に臨時休館いたします。詳細は「広報もりおか」や盛岡市公式ホームページをご覧ください。



西見前柿木に感通庵という寺がありました。宝永3年(1706)開山、享保20年(1735)廃庵となり、御本尊の如意輪観音はその後どうなったのかわかりません。月山の宮という社もあり、地域の人たちが祀っており碑石も存在するとのこと。

感通庵には、安珍という修験僧がいました。ある時、安庭(雫石)のとある豪家に泊まりました。その家には清という見目麗しい娘がおり、安珍はひと目で心を奪われ、ついに相愛の仲となりました。

しかし、安珍は僧の身、世間の噂をおそれて密かに庵を出てしまいました。清はやるせない思いで追いかけて渡船場まで来ましたが、その姿を見ることすらできず、安珍の薄情をいたく恨み付近の沼に身を投じてしまいました。

そうとは知らない安珍は、旅を重ねて近江の三井寺から根来寺への道中、道成寺に一泊しました。その夜、清の霊が枕元にあらわれ、安珍をさんざん悩ました。もだえ苦しんだ安珍は、それがもとで遂に命を落としてしまいました。

参考文献：都南村歴史民俗資料館『都南の民話』1985年

民話ゆかりの史跡 **月山神社**

感通庵は廃されたが、ともにあった月山の宮は今も残る(現在の所在は12地割[柿木]ではなく14地割[中島])。元禄10年(1697)頃、出羽三山の月山神社よりご神軸を受けこの地に祀ったものと伝わる。



月山神社
盛岡市西見前14地割地内
岩手県交通バス停「都南病院前」下車
徒歩7分

== 見て さわって 動かして 深まる学習 ==

～昔の暮らしを知る 盛岡市都南歴史民俗資料館の貴重な収蔵品～

★R6-第1回 氷冷蔵庫 (氷切り鋸、氷ばさみ)



当資料館には『氷冷蔵庫』があります。高さ72cm、横幅44cm、奥行き40cm程の木製の重厚な箱です。扉を開けると内側全体にブリキが張られ、中は上段と下段に分かれています。上段に氷、下段に食品を入れ、冷気で食品を冷やして保存する仕組みです。明治時代末に国産が発売され、昭和30年ごろに電気冷蔵庫が一般に普及するまで使われました。ただ、氷冷蔵庫は高価だったため、どの家庭にもあるといったものではなかったようです。無い家庭では、たらいに水を張り食物を冷やしたりしました。

氷は、明治時代の初めに生産されるようになり、毎朝水屋がリヤカーなどに乗せて家々を回り、『のこぎり』で切り分け、『氷ばさみ』で持ち上げて届けました。

当時は、身近にある食材を新鮮なうちに食べるということが当たり前だったため、食品保存に対してさほど必要性を感じることはなかったようです。サステイナブルな生活は現代の私たちも見習いたい点です。

参考文献：岩井宏實『日本の生活道具百科』河出書房新社2002



氷切り鋸

氷ばさみ